

## 県知事賞



### 津波夏樹さん

平成29年度 沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労者表彰において、模範的な職業人として業績をあげ、同僚等から敬愛されている方として職場からの推薦を受けて、ライフサポート縁で生活されている津波夏樹様の「県知事賞」の授与が決定いたしました。

平成13年から就労し、現在働いている「有限会社トン豚フーズ」には平成15年入社で14年目になります。

仕事を休む事無く、真面目に取り組む姿勢は、社内からの信頼が厚いです。



# 名護学院

発行  
社会福祉法人名護学院  
発行人  
崎濱 秀政  
沖縄県名護市為又一〇一五一一  
TEL〇九八〇 五一一二七七  
FAX〇九八〇 五一一六四四

## 鉢嶺克治10周年記念絵画個展



### プロフィール

鉢嶺 克治

1971年

名護市生まれ

20歳の時に交通事故により頸椎を損傷し四肢麻痺の障害を負う。日常生活の殆どに介助を要するが、若干動く手を使って電動車椅子やパソコンを操作することが出来る。

10年前からライフワークとして、口で筆をくわえて独学で水彩画を描き始める。自宅にて家族の協力を受け、データ作成から印刷製本まですべて手作りのカレンダー作成を開始した。





# 「礎」(いしずえ)

当法人は、瀬嵩地域の山間部に福祉活動の基盤を求め、障害のある子どもや大人を対象にサポートが開始された。10年の節目には、「慈愛の礎」という文字が刻まれた石碑が建立され、30数年の時間を経て、法人の移転と共に再び地域へ移転された。

「慈愛の礎」の意味するものは、「人が人を支える」という問いへの答えを探る途上そのものでもある。支えられる主体と支える客体との平等、信頼関係に基づく適切な関係を築き、サポート関係における距離感は重要な視点となる。

対象となる人との共感、あるがままの受容によってサポートの必要性、その原因の見立てに始まる。ありたい姿を目標に据え、主体的に問題解決へと向かうプロセスにこそサポートの意味が存在している。

人は、自分の人生を生きているのであって、障害や高齢を生きているのではない。あくまでも個別の幸福の追求が目標であって、生きる手段として必要なサポートを選択できる環境を求めている。サポートの観点からいえば、常に、人を支えるための知識とスキルが問われている。

当事者の意思で将来像を描き、歩める環境づくりは、シンプルかつ重要な使命といえる。言い換えると、行動の理由があって、自らの意思と責任で歩んだ結果、目標が見えてくるという考え方である。目指すべきは、当事者の潜在能力への気づき、主体的に課題解決が図れる支援環境である。大切にすべきは、「個別性の尊重」、「意思決定の保障」を基盤に、私たち自身への働きかけ、サポートのあり方を振り返る謙虚な姿勢である。

今、「慈愛の礎」に意味を記すとすれば、多様な変化があっても、サポートのあり方を謙虚に振り返る姿勢は、いつの時代も変えてはならないものであろう。



上から見た名護学院



## 伊是名プロジェクトの経緯と現状

本プロジェクトは伊是名漁業協同組合からの人材募集がキッカケとなり、当法人から伊是名村に対し就労系事業所とグループホームの設立を提案したことから始まった。

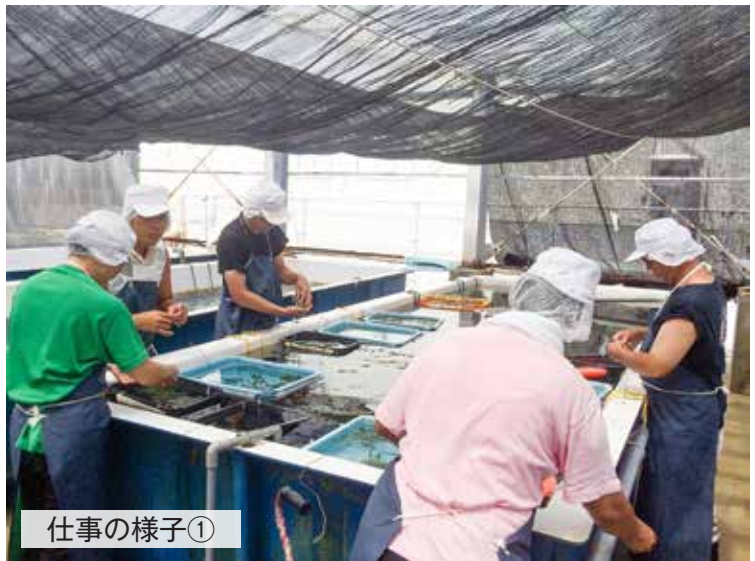
プロジェクトは平成28年度にスタート。法人内の4事業所が連携し、約1年かけて本島と伊是名村を行き来しながら利用者さんの職場実習と生活体験（実習期間中島に滞在）を支援してきた。結果、4名の方が移住を決意。平成29年7月1日には県からグループホームの指定も受け、利用者の皆さんも伊是名村へ住所を移した。

伊是名村に開設した「グループホームサンクバーナ」は、暮らしを支援するグループホームと、仕事を支援するワークサポートひびきのサテライト事業所として稼働している。

平成29年1月から伊是名漁業協同組合での委託作業（施設外就労）が始まり、利用者の皆さんは仕事にも慣れ任せられる業務も増えてきた。業績アップの力になっているとの嬉しい評価も頂いた。地域生活の面でも、地域行事やイベント、サークル活動への参加など一人ひとりが地域に溶け込み、自分なりの楽しみを見つけている。名護・本部エリアのグループホームには本島に遊びに行った際の宿泊先として受け入れて頂き、そのバックアップ体制が彼らの安心と休日の充実した生活にも繋がっている。

今後、Uターン・Iターンを希望する障害のある方々の受け皿となり、彼らが活躍できる環境を整える事で、利用する本人とその家族、伊是名村の方々に喜んでもらえるような事業所となることを目指していきたい。

### グループホームサンクバーナ（尚円ホーム）



仕事の様子①



仕事の様子②

## YHMKT プロジェクト

### 6次化の取り組み

私たちは、ゆいとびあ（Y）、ひびき（H）、ワークセンターもとぶ（M）のB型事業所とかふう（K）、とらいあぐる（T）の生活介護事業所、計5事業所が連携しYHMKTプロジェクトと題して、農産物の製造から加工、販売までを取り組んでいる6次化産業事業者、「ネクストステージ沖縄合同会社」さんの協力のもと、個々の得意、趣向を生かしながらそれぞれに合った働き方、社会参加の機会を提供しています。その取り組みの様子を紹介します。

#### ネクストステージ沖縄合同会社&YHMKTプロジェクト

**生産（一次産業）**  
にんじん／パパイヤ  
島唐辛子／落花生  
※野菜の調達

**加工（二次産業）**  
野菜のカット  
野菜の皮むき  
しりしり／乾燥／袋詰め  
パッケージデザイン

**販売（三次産業）**  
パンフレット作成  
商品のレイアウト  
営業・受注・発注  
商品の箱詰め・梱包／配達

### 生産部門（一次産業）の取り組み

ひびきの農場を中心ににんじん、パパイヤ、島唐辛子、落花生の生産を行っています。名護市内、伊江島の農家とも提携し援農ボランティア（畑の草抜き・収穫）に出かけ、生産農家のお手伝いもしています。また、生産が追いつかない場合などは、県北部を中心に農家、民家などを回り野菜の調達、出張買取なども行っています。



伊江島援農



伊江島援農



調達・出張買い取り

### 加工部門（二次産業）

名護市宮里にある工場にて、野菜の加工（皮むき、カット乾燥、袋詰め）を行っています。また商品をよりよくアピールするために、デザイン班を設け商品パッケージのレイアウト、作成も行っています。



加工場で働く様子



加工場で働く様子



作成した商品のパッケージ

### 販売部門（三次産業）

販売部門では、現在はお中元、お歳暮を中心に商品のレイアウト、パンフレットの作成、商品の箱の作成、箱詰め等を行い、法人内外の企業へ営業・販売・配達を行っています。今後の展開としてアンテナショップの運営等も企画しています。



## 旧天仁屋小学校跡地利用、6月2日「夢」プロジェクトスタート



旧天仁屋小学校跡地正面

前ぬ浜の老朽化に伴い、安全、安心できる場所を検討していたところ、旧天仁屋小学校跡地利用が可能となりました。九州北部の豪雨被害や50年に一度の降雨量を耳にする昨今、地震、風水害等で避難しなければならない状況が毎年のようにあります。避難誘導に時間がかかるお年寄りや、早めの避難が必要です。また、重度の障害等のある方は、負担が大きいこともあって、高台でもある天仁屋小学校跡地への移転を計画しております。他に地域の避難受け入れ場所、ドクターヘリ発着場所として活用ができます。

前ぬ浜施設移転だけではなく、地域おこしを視野に入れて、子供から大人までサポートできる拠点づくりを目指すため、地域とともに夢や思いを語りながら、作り上げていきたいと思っております。



旧天仁屋小学校跡地



第一回「夢」プロジェクト会議



プロジェクト委員任命式

## 事業所一覧

事業所名	郵便番号	住所	TEL (0980)	FAX (0980)
名護学院 法人事務局	905-0005	名護市為又 1015-1	52-2277	52-6644
キッズライブラリー (ショップ 43-9270)	905-0005	名護市為又 1015-1	43-9870	43-9870
障害者支援施設 睦	905-0005	名護市為又 1015-1	52-2080	52-2090
障害者支援施設 郷	905-0005	名護市為又 1015-1	52-5577	52-7744
障害者支援施設 里	905-0005	名護市為又 1015-1	52-3377	52-3399
福祉型障害児入所施設 名護わかば園	905-0006	名護市宇茂佐 232-1	43-0057	54-2505
障害者支援施設 本部海陽園	905-0213	本部町字谷茶 268	47-2622	47-2664
ライフサポート 縁	905-0212	本部町字大浜 878-16	51-6160	51-6161
ライフサポート ひだまり	905-0011	名護市字宮里 1-3-18	43-5888	43-5885
生活介護支援事業 とらいあぐる	905-1145	名護市字川上 257-1	58-1258	58-1277
生活介護支援事業所 桃の樹	905-0009	名護市宇茂佐の森 1-17-9	53-2961	53-2961
デイサービスセンター 二見の里	905-2269	名護市字二見 241-7	55-8788	55-8770
生活支援ハウス 前ぬ浜	905-2266	名護市瀬嵩 12-1	55-8400	
小規模多機能型居宅介護事業 さざなみ	905-2266	名護市瀬嵩 12-2	55-8793	51-9008
在宅支援センター ゆいとびあ	905-0212	本部町字大浜 885-1	47-5355	47-5444
ワークセンター もとぶ	905-0212	本部町字大浜 858-9	43-5107	43-5108
ワークサポート ひびき	905-0012	名護市字名護 4558-1	53-3110	52-5630
グループホーム サンクバーナ	905-0602	伊是名村緒見 154-1	45-2890	45-2891
在宅支援センター カラーズ	905-0009	名護市大北 4-24-41	53-5355	53-5355
サービス付き高齢者向け住宅 あかがーら	905-0012	名護市名護 4558-48	43-0747	43-0748
ヘルパーステーション あかがーら	905-0012	名護市名護 4558-48	43-0749	43-0750
クリニック 和睦	905-0012	名護市名護 4558-48	43-0418	43-0417
地域生活支援センター あかり	905-0009	名護市宇茂佐の森 1-17-9	53-6869	54-1672
障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム	905-0009	名護市宇茂佐の森 1-17-9	54-8181	54-3287

## 本部海陽園施設整備計画にあたり



本部海陽園

本部海陽園は昭和56年4月に「働く」「暮らす」を支援する授産施設として本部町で事業を開始して36年になります。これまでに生活習慣や作業活動等、働く喜びをとおして「施設から地域移行」を進めた結果、現在60名の方が本部町内のアパート等で(グループホーム)個々の生活リズムを確立し生き生きとした地域生活を送っております。

一方、現行の本部海陽園は定員40名で、入所支援、生活介護、短期入所の支援サービスを提供しています。主な日中活動として創作活動や機能訓練(生活リハビリ

テーション)を行い地元農業生産者と協働し生産物の加工処理等を施設外で行っております。

今回、施設整備を計画する主な理由は、居住環境の老朽化に伴う危険性と「利用者の求める暮らしやすさ」を実現するため環境を整備する必要性があげられます。

施設整備にあたっては、一番大切にしたい事は、利用者のライフステージにあわせ、「生きがいと活力」のある施設を目指したいと考えます。施設構造として、職住分離を意識し、一部小舎型(ユニット型)と共有棟、日中活動棟の整備を進めます。そして地域生活を目指す方の自立訓練棟の設置等、さまざまな利用者のニーズに合わせたサービスの提供や地域との連携がスムーズに図れることを目指し、サービスの質の向上と地域貢献に努めたいと思います。

また、地域の子供たちが自然体験をとおし学べる「キッズライブラリー」や「総合相談事業所」を計画的に推進していき、地域の社会資源として災害時の避難場所や緊急時の受入の場としての環境を整え、地域に必要とされる施設作りへ取り組んでいきます。

今後の施設整備の日程は、平成29年11月予定の沖縄県社会福祉審議会審査で、施設整備事業の承認を頂けると平成30年09月工事着工予定・平成31年3月中旬工事完了予定の運びとなります。

## ライフサポート縁・グループホーム施設整備計画

本部町に平成3年グループホームが開所し、現在13ホーム、58名の方が利用されています。

利用者の高齢化、重度化に伴い、介護を必要とされる方、自力で歩行できても小さな段差で転倒の危険性のある利用者が増えつつあり、早急にバリアフリー住宅が求められています。

また賃貸物件の老朽化と賃貸物件不足等、グループホームに適した物件が見つからない事や、消防法の改正にともないより安全面に配慮した整備の整った建物の確保が重要となり建築を検討致しました。

住み慣れた地域でこれからも暮らして行きたいというニーズもあり、それに応えるためにもバリアフリー住宅が早急に必要とされています。

平成27年度に本部町渡久地地域に185坪の土地を購入し建築に向けて沖縄県に施設整備計画書補助金申請を今年7月27日に提出しております。



建設予定地からの風景



## とらいあんぐる建設経緯と進捗状況

新設するにあたり、ご本人・ご家族・GH・相談支援事業所・学校など全21ヶ所を対象にアンケート調査の依頼をしました。

右のグラフが返答して頂いた、15か所のアンケート結果です。

これを元に、利用者や職員と話し合いをしました。

廊下やホール、各部屋が狭く、利用者同士が接触する恐れがあり危険な為、現在の敷地面積269.5㎡からその倍以上の805.65㎡にする事で、安心して活動する事が出来ます。

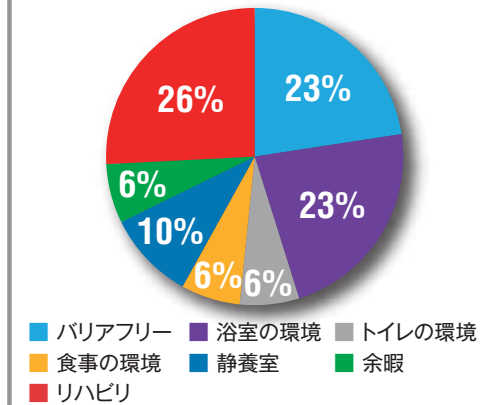
また、アンケートの中で入浴とリハビリに関してのニーズが多くありました。

入浴に関しては、男女別々の浴室にする事で、プライバシー保護や、利用者が個々のスケジュールで行動できるようにと考え、浴室も大きな車イスの方でもゆったり入れるように広く脱衣所も設けております。「湯船につかりたい」との意見もあり、男女で特殊浴槽を設置する事で、安心・安全・リフレッシュを心がけて設計しました。

またリハビリに関しては、専門職の配置が求められている中で「車いすから降りて活動できる空間がほしい」とのニーズもあり、リハビリ室も広く設計を行い、利用者がジムに通って、リハビリをしている雰囲気や環境、器具の充実も行いたいです。

6月13日、無事に地鎮祭を終えて、現在は基礎工事を行っています。今後は進捗状況の報告や細かな事などの工程会議を持ちながら進めていきます。

平成27年度 2月 アンケート調査結果  
本・家・GH 11組 相 3組 学 1組



地鎮祭の様子 (6月13日)



現在の状況 (8月8日)



とらいあんぐる完成予想図

# クリニック和睦

沖縄県名護市字名護 4558-48  
Tel 0980-43-0418 Fax 0980-43-0417

クリニック和睦は、社会福祉法人名護学院が運営するクリニックとして今年4月に開業いたしました。

法人が運営する施設、事業所はもちろんの事、地域医療のニーズに応えるべく、一層研鑽努力していく所存です。

地域の医療機関との連携を図りつつ、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



外来診療 眼科 内科 皮膚科 心療内科 休診日(日曜日 祝祭日 水曜日)

診療科目	診療時間(要予約)	月	火	水	木	金	土	日
内科	午前9:00~12:00	—	—		—	—	○	
	午後2:00~5:00	—	—		—	—	△ 第2・4・5	
眼科	午前9:00~12:00	○	○		○	○	—	
	午後2:00~5:00	○	○		○	○	—	
皮膚科	午前9:00~12:00	—	○		—	○	—	
	午後2:00~4:30	—	○		—	—	—	
心療内科	午前9:00~12:00	—	—		—	—	○ 第1・3	
	午後2:00~5:00	—	—		—	—	○ 第1・3	





## ～人材育成への取り組み～【職員研修の実施】

法人理念の実現に欠かせない職員ひとり一人の成長を目指した人材育成を図るため、平成29年度より法人研修実行委員会を立ち上げ、各階層【入職1年未満、1年～3年未満、3年～5年未満、5年～10年未満、10年以上、管理職】を対象に、法人内研修に取り組んでおります。これまでも各施設、事業所において独自に職員研修を実施しておりますが、新たに法人全体での取り組みとして位置づけ、サービス向上に努めてまいります。

また、平成28年度より職員の支援技術向上とスキルアップを目的に、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修を法人内で開催し、資格取得を応援しております。

### 気づきを促し行動を変化させ成長を支える為に

職員ひとり一人が、法人理念、倫理綱領、行動規範を念頭に利用者支援に取り組み、やりがいと誇りをもって、業務遂行できる職場環境の構築、自信をもって利用者支援ができる専門的な技術習得の機会の提供等、福祉専門職として個々の資質向上、チームとしての風通しのよい環境（連携強化）を整えます。

#### 研修風景 【1年未満研修】



#### 【1年～3年未満】



#### 【3年～5年未満】



#### 【5年～10年未満】



## H28年度自己啓発研修の実績について

平成28年度から資格取得をめざして、自己啓発研修を名護学院で実施しています。その結果を報告致します。

### 介護福祉士実務者研修受講生の結果について

介護福祉士実務者研修受講生10名の内、9名が国家試験である介護福祉士資格試験を受験し（1名は経験年数3年を満たしていないためH29年度受験予定）、7名合格して介護福祉士資格取得致しました。

資格取得者の事業所内訳	
障害者支援施設 睦	4名
とらいあんぐる	2名
ひだまり	1名
計	7名

### 介護職員初任者研修受講生の結果について

16名が受講し、全員が介護職員初任者研修終了資格（旧ホームヘルパー2級）を取得致しました。

平成29年度についても介護福祉士実務者研修(18名受講)を引き続き実施しています。

資格取得者の事業所内訳			
障害者支援施設 郷	2名	ワークセンターもとぶ	1名
障害者支援施設 睦	2名	ライフサポート縁	1名
障害者支援施設 里	1名	ひだまり	1名
本部海陽園	3名	カラース	1名
二見の里	2名	サ高住あかがーら	2名
		計	16名

## 今年度採用職員紹介



事務員  
**古堅 翔子**

所属：支援施設 睦  
施設に勤めて4年、学びの多い毎日に焦りも感じますが、楽しみながら頑張ります。



支援員  
**具志堅 八枝子**

所属：サービス付高齢者向け住宅 あかがーら  
若い皆様の中で、年上の私ですが、これまでの人生経験を生かし、頑張ります。



支援員  
**神谷 乗充**

所属：支援施設 郷  
5年目になります。これからも利用者の自立・自律の応援をしていきます。



支援員  
**仲間 光代**

所属：ライフサポート ひだまり  
生まれは高知。京都、福岡を経由し、沖縄生活11年です。名護市消防団に所属しています！



事務員  
**照屋 卓哉**

所属：法人事務局  
陰ながら皆様のサポートが出来るよう頑張ります。これからよろしくお願いたします。



支援ワーカー  
**比嘉 恵利香**

所属：ティーダ&チムチム  
利用者の立場に立って、ニーズに応え自立へ導く支援ワーカーを目指して頑張ります。



支援員  
**屋嘉比 織江**

所属：支援施設 郷  
4月から採用となりました。特技は30年続けている空手です！初心を忘れず頑張っていきますのでよろしくお願致します！



支援員  
**新城 佑希**

所属：支援施設 本部海陽園  
施設入所者の皆様やご家族が安心して生活できる環境作りや支援、楽しく過ごせる生活の場を提供できるように業務に取り組んでいきます。

## 社会福祉法人名護学院役員名簿

(フリガナ) 氏名	役職名・呼称
サキハマ ヒデマサ <b>崎濱 秀政</b>	理事長
ナカガネク ノボル <b>仲兼久 登</b>	理事
ヤマシロ ハジメ <b>山城 一</b>	理事
ザマミ シン <b>座間味 眞</b>	理事
ヒガ タツヤ <b>比嘉達也</b>	理事
タイラ ヒデヨ <b>平良英世</b>	理事
ナカチ ソウトク <b>仲地宗徳</b>	監事
タイラ ミツオ <b>平 三男</b>	監事

(フリガナ) 氏名	役職名・呼称
ナカソネ マサヒロ <b>仲宗根 政博</b>	評議員
トカシキ シンゴ <b>渡嘉敷 真吾</b>	評議員
キシモト ヤスシ <b>岸本安司</b>	評議員
タムラ ノブカズ <b>田村信一</b>	評議員
ミヤギ サチオ <b>宮城幸夫</b>	評議員
タカエス アイコ <b>高江洲 愛子</b>	評議員
ギスシ サトシ <b>宜寿次 聰</b>	評議員



## 平成28年度 決算報告

平成29年3月31日現在

### 貸借対照表

借 方		貸 方	
流動資産	833,433,417	流動負債	179,308,256
固定資産	2,528,795,273	固定負債	596,362,900
基本財産	1,839,862,405	基本金	360,801,278
その他の固定資産	688,932,868	国庫補助等特別積立金	1,262,111,422
		その他の積立金	186,231,779
		次期繰越活動収支差額	777,413,055
計	3,362,228,690	計	3,362,228,690

### 資金収支計算書

勘定科目	当年度決算
事業活動収入計(1)	2,217,007,691
事業活動支出計(2)	2,013,965,333
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	203,042,358
施設整備等収入計(4)	1,688,900
施設整備等支出計(5)	92,408,080
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-90,719,180
その他の活動収入計(7)	78,236,330
その他の活動支出計(8)	53,032,027
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	25,204,303
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	137,527,481
前期末支払資金残高(12)	561,984,123
当期末支払資金残高(11)+(12)	699,511,604

### 事業活動計算書

勘定科目	当年度決算
サービス活動収益計(1)	2,209,067,739
サービス活動費用計(2)	2,050,253,653
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	158,814,086
サービス活動外収益計(4)	10,861,364
サービス活動外費用計(5)	12,463,918
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	-1,602,554
経常増減差額(7)=(3)+(6)	157,211,532
特別収益計(8)	2,260,104
特別費用計(9)	2,173,830
特別増減差額(10)=(8)-(9)	86,274
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	157,297,806
前期繰越活動増減差額(12)	551,115,249
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	708,413,055
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	76,500,000
その他の積立金積立額(16)	7,500,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	777,413,055

## 行事予定のお知らせ

### ◆ 本部海陽園 秋祭り

平成29年10月28日(土) 18:00 ~ 20:00

### ◆ 二見の里 20周年記念行事

平成29年11月5日(日) 14:00 ~ 16:00

(※ 場所: 名護市役所 久志支所)

### ◆ 名護学院 里郷睦秋祭り

平成29年11月12日(日) 15:00 ~ 18:00

### ◆ 第7回実践事例研究発表会

平成30年2月中旬



## 編集後記

空は深く澄み渡りさわやかな季節となりましたが、皆様におかれましては健やかに過ごしのことと存じ上げます。

この度、地域社会の期待に応える社会福祉法人として、福祉施設の取り組みや各事業所の活動を広く知ってもらおう事を願い広報誌の発刊に至りました。

広報誌の発刊にあたり、広報委員会を結成し数回に渡って会議を重ねてきました。法人内での活動内容を精査し、各事業所に原稿や写真の依頼、多くの協力を頂き完成致しました。完成に至るまで時間が掛かりましたがご協力頂いた皆様には深く感謝致しております。有り難うございました。

M.O

今年度最初の広報誌をお届けします。

今号は、前年度から伊是名漁業協同組合と連携して名護学院が動き出した、伊是名プロジェクトの記事が大きな見どころとなっています。

また、ライフサポート縁で生活されている津波夏樹さんが沖縄県障害者雇用優良事業所・優秀勤労者表彰において「県知事賞」を授与されたという大変嬉しいこともありましたので、ぜひその記事にも目を通してみてください。

広報委員が決まり発行に至るまで、予定より時間はかかってしまいましたが無事に発行することができました。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。

なお、誌面に掲載されている写真は、全て了解を得た上で掲載しております。

T.H